

北杜市ってこんなところ

その1

日照時間日本一



日本の平均日照時間は年間2,000時間ですが、北杜市は2,500時間以上。その特徴を生かして多くの種類の農産物が栽培されています。

その2

ミネラルウォーターの一大産地



ハケ岳の南麓に多くの湧水スポットがあり、名水百選に選ばれた水が市内に3カ所もある「日本一の名水の里」です。

その3

国蝶オオムラサキが見られる



羽が美しい紫色に輝く蝶・オオムラサキ。ハケ岳高原は、全国一の生息地とされ、保全活動も行われています。

住みたい田舎日本一！

山梨県 北杜市

近くにハケ岳、遠くに南アルプスの山並みを望み、美しい景観と過ごしやすい気候に恵まれた北杜市。特に就農を目指す若者に、今、注目の「田舎」です。

取材・文／柳澤美帆 撮影／キッチンミノル



日本一にズームイン

従業員とのランチタイム モットーは「農業は楽しく」



みんなでお昼休憩。採れたての野菜を使ったサラダが食卓に

がつけられる 採れたてのたまねぎ



有機たまねぎは育てるのが難しく、栽培している農家は少ない

キャロットジュースを試作 農業の6次化を目指す



近隣の福祉施設と連携し販売を計画。日々試行錯誤を繰り返す

**理想の農業が叶う
北杜市で就農**

高校時代から農家になることを目指し、就農先を探して巡りあつたのが北杜市でした。有機無農薬栽培をやりたいので、それに適した準高冷地で火山灰土という土地の条件や、日照時間が長く水もおいしい環境をみて、自分が求める理想の農業ができる場所だと感じました。

畑は耕作放棄地を地主さんから借りて自分の手で開墾。当初は10アールだった農地を6・5ヘクタールまで増やし、さまざまな野菜を作っています。ここは山並みがキレイで、インターチェンジにも近く実家の埼玉にも帰りやすい。妻にも出会い、最高の環境で農業を楽しんでいます。

就農を後押しする サポート制度も充実

北杜市は、新規就農者が多くて有機農家も100軒近くいるんじゃないでしょうか。ひと言で有機と言っても方法はさまざまなので、自分に合ったスタイルの人たちと連携することもできますし、相談もできます。今は私が移住したときよりも、就農や住宅支援なども充実していて、これから就農する人がうやましいです。今後も、有機農業で、人が作っていないものを作っていきたいですね。また、ジュースなどの加工品を作る6次産業化や、就農体験の受け入れなど、いろいろな可能性を見つけて、未来のある農業スタイルを確立していきたいと思っています。

南アルプス・ ハケ岳の恵み 天然水かき氷

ハケ岳の天然水を凍らせた「天然氷」を使用。じっくり凍らせて作るため不純物を含まず、驚きのふわふわ食感に！



株式会社ファーマン
井上農場
井上能孝さん

有機JAS認証を取得したたまねぎ、にんにく、じゃがいも、にんじんなどを生産。農業体験の受け入れなども行っている。



DATA



山梨県 北杜市

山梨県の北西端に位置し、長野県と隣接。日本一の日照時間と水に恵まれた県内屈指の農業地帯で、米や果樹をはじめ有機栽培野菜の生産も盛ん。

多様な支援を用意して
移住者を後押しし

「田舎暮らしの本」(朝日新聞社)の「住みたい田舎ベストランキング」の小さなまち部門で総合一位を獲得した北杜市。首都圏だけでなく中京圏からもアクセスが良く、ハケ岳や南アルプスなど美しい山々の景観にも恵まれています。こうした地の利はもちろんです。近年は自治体が積極的に移住を促進して人気を集めています。

3年前から「若者応援プロジェクト」を開始。移住に向けた住居や就職支援だけでなく、子育て支援なども手厚く、年次別移住者数では30代が最多。また有機や無農薬栽培で野菜を育てる農家が多く、こうした農業を目指す人にとっては、先輩農家から研修を受けやすい環境にあります。就農支援制度もあり、農業に挑戦したい人たちに注目されています。